

会 議 録

1 会議名

第11回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告（公開）

(1)市からの報告

- ・浦川原区地域協議会からの意見書に対する回答について
- ・浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみの廃止について
- ・3区中学校統合の進捗状況について
- ・地域独自の予算の事業一覧について

(2)会長報告

(3)委員報告

- ・中学生との意見交換会（中学生による団体への提案）について

○協議（公開）

(1)自主的審議事項の検討について

○その他（公開）

- ・浦川原区地域協議会だより第54号の発行について
- ・令和4年度地域活動支援事業成果報告会について

3 開催日時

令和5年2月22日（水）午後6時30分から7時44分まで

4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：相澤誠一、赤川義男、池田幸博副会長、小野正広、春日清美、北澤正彦、五井野利一、杉田和久、藤田宥禎会長、宮川勇、村松進副会長
- ・事務局：浦川原区総合事務所佐藤所長、大橋次長、竹田次長、産業グループ山本グループ

プ長、滝澤主幹、建設グループ大島グループ長、市民生活・福祉グループ石川グループ長、春日上席保健師長、教育・文化グループ山崎グループ長、総務・地域振興グループ北澤班長、西條主任

- ・交通政策課：若山課長、渡邊主事

8 発言の内容

【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・出席者は11人。欠席者は北澤誠委員。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告。
- ・会議録の確認：相澤誠一委員に依頼。

【藤田会長】

それでは、次第の「2 報告」に入る。「(1) 市からの報告」として、「浦川原区地域協議会からの意見書に対する回答について」である。1月の地域協議会でほくほく線の利用促進及び利便性の向上について自主的審議を行い、2月2日付けで意見書を提出した。

本日は、市からの回答について説明を受ける。交通政策課から若山課長と渡邊主事にお越しいただいているので、よろしく願います。

【交通政策課若山課長】

(当日配付資料に沿って説明)

【藤田会長】

今ほどの説明について、質問や意見があれば願います。

質問がなければ、私から、意見1と意見2の回答において、「取組の参考としていただけるよう伝える」となっているが、私たちの願いは、北越急行の大株主である上越市からもっと指導的な発言をお願いできないものかという期待である。

【交通政策課若山課長】

「取組の参考として」という言葉が後ろ向きと捉えられたのであれば誤解である。株主について、一番の大株主は県であり、上越市は13%ほどである。ただ、上越市長は北越急行(株)の取締役であるため、市長に話をしていく中で、地元の皆さんの要望を伝えていく。

【藤田会長】

自主的審議の中でいろいろな意見をいただいているので、今後、検討していかなければならないと思っている。

例えば、意見5の駅舎周辺の活性化や利用促進についての「地域運営で開催するための協力」や、意見3の「ネットショップの活用」について考えた場合、具体的にどう取り組んでいくのか。交通政策課から回答をいただいたように、市から協力していただけるということで、地域で運営するための具体的な組織づくりや、どのように協力をお願いするかなどについて検討が必要だと思っている。

【杉田委員】

藤田会長と同じような意見になるが、意見1と意見2の回答において、「利便性向上に関する意見については、取組の参考としていただけるよう北越急行株式会社にお伝えします。」という文言について、もう少しこの意見書の重要度を鑑みていただきたい。きれいごとの言葉ではなく、もう少し気持ちの入った回答が欲しかった。あまりにもあっさりとしていて、何か物足りない感じがする。

もう一点、上越市が北越急行との意見交換や要望等を伝える懇談会のような場は定期的にあるのか。

【交通政策課若山課長】

「いつ」という決まりはないが、随時協議しており、活性化に向けての話もしている。

今回の意見についても、きちんと文書で渡すことにしているので、「気持ちがこもっていない」と心配されたのであれば誤解であり、ご理解いただきたい。

私たちは、決して委員の皆さんの意見をないがしろにしているわけではなく、地域の皆さんの駅への愛着や鉄道に対する思いが、この鉄道を守っていくと思っている。市としても、鉄道をなくすわけにはいかないため、昨年から北越急行の今後について、県を中心に沿線市とともに会議を実施している。ご心配いただいている部分については、市として北越急行にきちんと伝えていく。

【藤田会長】

現在、北越急行から回答をもらっているわけではなく、今後、上越市から文書で北越急行へ提出していただけるという解釈でよいか。

【交通政策課若山課長】

そうである。今日、皆さんからいただいた意見もきちんと伝えていきたいと思っている。

【赤川委員】

県の持ち株比率はどのくらいか。

【交通政策課若山課長】

行政が占める株は83%ほどで、県は全体の54%、上越市が13%、十日町が11%ほ

ど保有しており、その他に民間団体等も保有している。

【藤田会長】

他に何かないか。

(会場内から「なし。」の声)

今後、次のステップとして、Bグループの皆さんと引き続き協議していきたい。

それでは、交通政策課の若山課長及び渡邊主事は退席いただいて結構である。

(交通政策課退席)

【藤田会長】

次に「浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみの廃止について」、産業グループから説明をお願いします。

【産業グループ山本グループ長】

(資料1に沿って説明)

【藤田会長】

皆さんから協議していただいた結果であるので、異議等はないと思うがいかがか。

(会場内から「なし。」の声)

【藤田会長】

次に「3区中学校統合の進捗状況について」、教育・文化グループから説明をお願いします。

【教育・文化グループ山崎グループ長】

(当日配付資料に沿って説明)

【藤田会長】

今ほどの説明について、質問や意見があればお願いします。

質問がなければ、次に「地域独自の予算の事業一覧について」、総務・地域振興グループから説明をお願いします。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

(当日配付資料に沿って説明)

【藤田会長】

今ほどの説明について、質問や意見があればお願いします。

【赤川委員】

資料に記載のある3事業のほか、提案はあったが、予算化されなかった事業はどのくらいあったのか。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

実際に事業の提案があったものは、資料に記載されている3件だけである。予算化できな

かった事業はなかった。

【藤田会長】

他に質問がなければ、次に「(2) 会長報告」として、令和4年度大浦安地域協議会の研修会について報告させていただく。

2月17日金曜日、午後6時30分から安塚コミュニティプラザの2階ホールで開催された。講師に上越市の小田副市長からお越しいただき、第7次総合計画に基づく施策等について、約1時間説明があった。研修の内容は制度の説明が主で、「人を変えるには自分も変わらなければならない。新しいものを受け入れる気持ちを持たなければならない。お互いにディスカッションや仕事をする際には、笑い声が必要ではない。人のまねをしてほしい。」など、小田副市長の信条も話されていた。

講演後の質疑応答で、私と村松副会長が発言したが、質問に対してあまり答えていただけなかったと感じている。質疑応答の時間が10分間しか設けられていなかったのも、研修会として反省材料が多々あったのではないかと。施策の内容を紹介するだけでなく、もっと議論があっても良かったのではないかと感じており、その点が非常に残念であった。

私からは、指定管理者制度について、月影の郷を中心に質問したが、きちんとした回答はいただけなかった。また、市は、町内会長の負担軽減のため、全戸配布の文書を減らす方向であると聞いているが、全市一律の対応で進めるのではなく、もう少し丁寧に、各区の事情に合わせた対応をお願いできないかと思い質問したが、時間の関係で終わってしまった。来年度は浦川原区が当番となるため、研修会としてきちんとした形になるものにしていきたい。

今ほどの説明について、質問や意見があれば願います。また、研修会に出席された方で、他の意見等があれば願います。

意見等がなければ、「(3) 委員報告」として、「中学生との意見交換会（中学生による団体への提案）」について、村松副会長から報告をいただく。

【村松副会長】

今年度実施した地域協議会と中学生との意見交換会について、中学校から「学習先の月影雅楽、飯室神楽、保倉川太鼓の3団体にフィードバックしたい」という連絡があった。3月9日、木曜日の午後2時40分から、浦川原中学校で実施するとのことなので、実行委員の5人とAグループの皆さんに出席をお願いしたい。文書による案内は行わないのでよろしく願います。

【藤田会長】

実行委員とAグループの皆さんは是非参加していただきたい。

関係団体はどうするのか。

【村松副会長】

3団体から中学校に集まっていただくことになっている。

【藤田会長】

次に「3 協議」に入る。「自主的審議事項の検討について」、AグループとBグループの取組と今後の予定について報告いただく。はじめに、Aグループの池田副会長から願います。

【池田副会長】

Aグループは、第8回のグループワークを2月6日月曜日に開催した。浦川原の芸能・文化を守る事業について、当初、月影雅楽、飯室神楽、保倉川太鼓の3団体にNPO法人夢あふれるまち浦川原も含めて、芸能に関する協会を立ち上げようと計画していたが、3団体の代表から意見を聞く中で、時期尚早と判断し、まずは3団体揃って発表の機会を作ることとした。令和5年度は、10月に月影の郷で開催される「月影芸能まつり」に出演してもらうため、引き続き各団体と話し合いを続けていくこととなった。また、今後、新たな芸能まつり等の開催や子どもたちへのアプローチとして、体験会の開催などの計画を進めていき、令和6年度の地域独自の予算に提案したいと考えている。

本日、月影雅楽保存会の役員会があり、北澤正彦委員からAグループとしての想いを熱く語っていただくこととなっている。

次回のグループワークについては、3月7日火曜日としていたが、都合のつかない委員が多かったため、本日この場で次回の開催日程を変更したい。

(日程調整)

それでは、3月14日火曜日の午後6時30分から開催する。

【藤田会長】

今ほどの報告について、質問や意見があれば願います。

飯室神楽と五井野委員が所属する保倉川太鼓については、会員がある程度揃っており、願えば受けていただけるのではないかと感じているが、月影雅楽はどうか。

【池田副会長】

その辺について、北澤正彦委員から投げかけていただいている。本日の役員会において、必ずや良い報告が聞けると信じているところである。

【藤田会長】

是非、期待したい。

続いて、Bグループは、本日意見書に対する回答をいただいたので、今後の取組について話をしなければならないと思っている。また、安塚区と牧区において予約型コミュニティバスの実証運行を行っていることから、中間報告や内容について説明を受けたいと思い、交通政策課に打診したところ、「3月15日、16日、22日、23日の中で決めていただきたい」と返事をいただいたので、本日決めたいと思う。

(日程調整)

それでは、23日ということをお願いする。事務局よろしいか。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

了解した。それでは、3月23日木曜日の午後6時30分からということで、改めて文書で案内する。

【藤田会長】

意見書の回答への対応については、事務局と相談して案をまとめ、事前に配付できるようにしたい。

次に「4 その他」に入る。「浦川原区地域協議会だより第54号の発行について」、事務局から説明をお願いします。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

(当日配付資料に沿って説明)

【藤田会長】

次号の第55号は3月に発行する予定で、村松副会長、相澤委員、赤川委員、杉田委員が編集委員となる。よろしくをお願いします。

【藤田会長】

続いて「令和4年度地域活動支援事業成果報告会について」、事務局から説明をお願いします。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

(資料2に沿って説明)

【藤田会長】

今ほどの説明に対して、質問や意見があればをお願いします。

質問がなければ、次に、建設グループから「浦川原運動広場跡地における三和安塚道路の建設土砂の仮置き」について、説明をお願いします。

【竹田次長】

旧浦川原運動広場の跡地利用について、新潟県上越地域整備部道路課から相談があり、「浦

川原区今熊地内で進められている上越魚沼地域振興快速道路の建設工事で発生する土砂を、一時的に仮置きする場所として活用したい」と申入れがあった。

皆さんご存じのとおり、当該地は事業用地として活用の間合せが来ているところであるが、具体的な活用計画には至っていないこと、開発に伴う手続に半年以上必要となることから、地権者の同意を得た上で、敷地の有効利用を図るため、県の申入れを受け入れることとした。

工事は、3月を目処に今熊地内の建設現場から搬出を開始し、10月下旬を目処に旧浦川原運動広場からの搬出を完了する予定であり、この間土砂を一時的に仮置きするものである。仮置きは敷地全体の約14,800平方メートルの予定で、期間中は県の工事の受注先である郷土建設藤村組が、草刈りや土砂の飛散防止、土砂流出対策等を実施することとしている。土砂の運搬については、原則、国道253号から進入し、県道柿崎牧線から退出することとしており、大型ダンプ10台から15台で往復する予定と聞いている。期間中は、大型車両の走行が増えることから、近隣への騒音や振動が発生することも想定されるため、十分注意していただくようお願いしている。

なお、跡地利用については、引き続き地権者と協議、調整等を図りながら必要な検討を進めていきたい。

【藤田会長】

今ほどの説明について、質問や意見があればお願いします。

【春日委員】

トラックの移動ルートについて、土砂を積みに行く時は、国道を通過してどこから入るのか。カントリーエレベーターがあるところから入るのか。

【竹田次長】

そうである。ただ、ダンプは仮置き後に一度会社に戻り、再度、積み込む際に現場へ向かうことになると思う。

【相澤委員】

運動広場の利活用は、大変結構である。また、長期間に渡らなければ、後々の影響もあまり出ないと思う。

以前にもお聞きしたかもしれないが、地権者は何人いて、活用の意向確認はどのように行っているのか。皆さんから集まっていたいて意見を聞いているのか、どんな意向を持っているのか、お聞かせいただきたい。

【教育・文化グループ山崎グループ長】

地権者の方とは、個々に協議している。地権者は、民間の会社と個人の方が4人いて、

自身の意向を示していない方もいるが、跡地利用の話があれば、同意していく方向であるという考えの方もいる。

【相澤委員】

「土地を元に戻して返却してほしい」と言われる人はいるのか。

【教育・文化グループ山崎グループ長】

今のところ、そういった地権者はいない。

【相澤委員】

できれば地元の地権者だけでも集まっていただき、どう利用したいのか意見を聞き、できるだけその要望に沿って進めていただきたい。やはり、地権者の意見が大切である。

【竹田次長】

市の土地もあり、まずは何らかの土地利用案を考えないと、なかなか個人で「どうしたい」という意見は出てこないと思われる。もちろん皆さんの意見はお聞きしていくが、土地の再利用については引き続き協議していく。

【藤田会長】

各地権者との契約は解約せずに、上越市から県へ貸し付けると解釈してよいのか。

【竹田次長】

今まで市が借りていた土地は、地権者にお返ししている。

【藤田会長】

それぞれ返したということか。

【佐藤所長】

そうである。この仮置きに関しては、県と個々の地権者が契約を結び、一体として使用するということである。

【春日委員】

繰り返しで申し訳ないが、先ほどのトラックの運搬ルートで心配な部分がある。小・中学生の登下校ルートが運搬ルートと重なっている部分が多くあるため、安全面などをチェックしていただきたい。

【竹田次長】

土砂の搬出については、今熊町内会の他に全部で3つの町内会が関係するため、各町内会長には児童生徒の登下校の話もさせていただく。また、県にも話をする。

【春日委員】

よろしく願います。

【赤川委員】

対象町内会は今熊と他はどこなのか。

【竹田次長】

今熊の他、長走、横川、六日町の3町内会である。

【赤川委員】

山本町内会にもその場所を通して中心部へ向かう方がいるため、山本町内会にもお知らせいただきたい。

【竹田次長】

了解した。山本町内会にも県から話をさせていただくこととしたい。

【藤田会長】

続いて「5 次回の会議日程」について、3月25日土曜日、午後1時30分から令和4年度地域活動支援事業成果報告会を開催し、その後、午後3時45分から第12回地域協議会を開催する。

以上で、第11回浦川原区地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も合わせてご覧ください。